

問 自国の高齢化とそれが引き金となって生まれる社会問題を説明し、他の先進国の政策や動向を参考に、その問題に対してどのような対策を講じればよいか800字以内で論ぜよ。

模範解答

中国では、国務院が発表した報告書によると、現在総人口に占める60歳以上の高齢者は20%を超えており、2035年には30%を超えることが予測されている。こうした急速な高齢化により、各地域で失能老人（寝たきりや要介護状態の高齢者）も増えはじめている。そのような中、高齢者施設数は増えているものの、未だ十分ではない状況にある。また、サービス料金が地域住民の支払い能力を上回っていることからあまり利用されず、十分に機能していない一面もある。さらには、介護職員は女性・農村出身者・低所得者層が担うイメージがあり、魅力的な職業とはなっておらず、人材確保が難しい状況でもある。この高齢者介護の問題に対する政策が遅れば、今後この問題を引き金に、高齢者虐待、介護離職、ヤングケアラー等の更なる問題が発生してしまう。

この高齢者介護の問題について、ドイツと日本では1990年代に介護保険を法制化させることで、財源の確保をはじめ、利用しやすい契約制度、多種多様なサービスを展開することに成功している。とりわけ日本においては、地域住民が利用しやすいサービス提供システムを構築し、現在では更に発展させ、地域包括支援システムを構築する段階に入っている。

以上を踏まえ、最後に日本の政策や動向を参考にして、中国で取るべき対策について3つの提案をする。1つ目は、介護は家族がするものであるという価値観を「介護の社会化」に転換させるとともに、民間企業が介護サービス業界に参入したいと思えるような制度設計をすることである。2つ目は、高齢者の様々なニーズに応えつつ、財政がひっ迫しないよう、在宅サービス・予防サービスの充実や介護・医療サービスの連携を図り、サービスの効率・効果を高めることである。3つ目は、介護職員の人材が不足しないよう、ICTやロボットの活用や賃金の見直し等を図りながら介護職の魅力を高め、若者や元気高齢者等も参入できる体制を整えることである。

(800字)